

(2) 各年次の重点努力目標

部	事 項	目 標
一年次	1 基本的な生活習慣の確立	①生徒指導部と連携し、学校や社会のルールに対する規範意識をつけさせる。 ②教育相談係や中途退学対策係、スクールカウンセラーと連携し、支援の必要な生徒に対応する。 ③年次集会を利用し、集合整列や話を聞く態度の指導を徹底する。 ④身なりを整え、あいさつができる指導を徹底する。
	2 学習指導の育成	①教科担任と HR 担任の連携を密にし、習熟度別学習を利用しながら基礎学習の定着を図る。 ②教育課程の理解を深め、未履修者を減らす指導を行う。
	3 進路指導の充実	①講話の実施や、進路指導部からの情報提供を通して、就職・進学に対する意識を高揚する。 ②三者面談などを通して、進路に対する意識付けを行う。
二年次	1 基本的な生活習慣の確立	○家庭と学校との連携を密にして、朝の遅刻と無届欠席を重点的に指導する。 ○普段の学校生活の中で身なり・マナー教育の充実を図る。 ○さまざまな機会を通して生徒の規範意識を高める。 ○担任・カウンセラーとの連携を密にし、支援の必要な生徒に対応する。
	2 学習態度の育成	○生徒指導部と連携して、授業遅刻の減少を図る。 ○担任・教育相談と連携して支援の必要な生徒に対応する。 ○日々の授業の中で基礎学力の定着を図る。 ○全生徒の全教科単位修得と進級を目指す。
	3 キャリア教育の推進	○就業体験やその他の活動を通して、生徒の好ましい職業観の涵養を図る。 ○生徒が自己分析を行い、自分を見つめ直す機会を作ることで、自己肯定感を高め、自己実現ができるような進路意識の向上を図る。
三年次	1 進路の早期決定と進路指導の強化	○保護者に学資の準備をするように促す。 ○職場見学会、体験学習、企業合同面接会への参加を促す。 ○個別面接指導（キャリア・カウンセリング）を行い、適切な職業観・勤労観を育成する。 ○生徒に定職意識を持たせるよう指導する。 ○各種資格検定を積極的に受検させ、達成感と学習意欲の向上を図る。 ○進路部と3年次会との連携を密にし、進路の早期決定につなげる。
	2 基本的な生活習慣の確立	○出席状況をこまめに把握し、指導する。（遅刻・欠席の多い生徒には常に保護者に報告する） ○懲戒指導等のないように指導する。 ○生徒指導部と連携をとる。 ○進学・就職に向けた、身なり・マナー教育を徹底する。
	3 教育相談の積極的推進	○カウンセラーと連携をとる。 ○保護者との連絡・相談を充実させる。
	4 卒業に向けた指導	○取得単位と出席状況を絶えず認識させる。 ○面談（三者・個人）を頻繁に行い、卒業を意識させる。 ○就職準備期間までに懲戒、勤怠指導を終了させる。